

東日本旅客鉄道株式会社
常務執行役員 新幹線統括本部長 川合 正敏 殿

J R 東日本輸送サービス労働組合
中央執行委員長 佐々木 宏充

「新幹線の乗務員基地再編の概要について」に関する解明申し入れ

2020年5月26日、新幹線における乗務員基地再編の概要として、新幹線における乗務員職場については、新幹線業務に特化する乗務員職場に見直すことで安全・サービス品質の更なるレベルアップを図るとともに輸送の安定性の維持、および効率的な業務体制の実現を目的に東京近傍に東京新幹線運輸区（仮称）を新設する。これに伴い、上野新幹線第二運転所を廃止するとともに、東京支社丸の内車掌区が担当している新幹線業務については東京新幹線運輸区（仮称）の発足とともに新幹線統括本部に移管する。実施時期は、2021年3月を予定とし、具体的実施時期は決定次第連絡するとの提案を受けました。

会社は、今回の概要については提案であると言うものの、すでに新たな東京新幹線運輸区（仮称）の工事に着手していることから要員規模等の考えに基づいて行われており、意図的に組合に対して実施内容を伏せての提案は容認できないことから速やかに示すことを求めました。しかし、運転士・車掌の要員体制や行路数、職場規模、職場レイアウトなどについては一切示されずに検討中を繰り返すにとどまっています。

職場では、東京新幹線運輸区（仮称）が新設されることによる会社説明等に対する不満が噴出している一方で、新設に伴う異動や安全教育体制等に対する不安が渦巻いています。概要提案といえども具体的内容を示されなければ労使協議は行うことはできません。業務改革・生産性の向上ばかりに目を取られ、安全を担う人間への投資や活躍できるフィールドをつくることを怠れば、鉄道の安全は確立できません。人間労働・経験労働を重視し「鉄道安全と労働安全」の両輪を実現していくためには、様々な現実と直面しながら奮起し続ける社員の意見を大切に「現場第一主義」の企業風土をいま一度創り上げることが重要だと考えます。

組合員・社員の不満・不安の解消を図り、安全で安心した労働環境を実現し、更なる新幹線部門の安全とサービスレベルの向上につなげ、利用者からの信頼と安心をつくり出していかなければなりません。

したがって、下記のとおり申し入れを行いますので、真摯な回答を要請します。

記

1. 「新幹線業務の変革」についての進捗状況および今後の展望についての考えを示すこと。

2. 東京新幹線運輸区（仮称）発足における運転士・車掌・事務・管理者等の要員体制、行路数、臨時行路および担当線区についての考えを示すこと。
3. 東京新幹線運輸区（仮称）の発足の目的を明らかにするとともに安全・サービスのさらなるレベルアップをどのように図るのか示すこと。また、効率的な業務体制の実現を図るとはどのようなことを意味するのか明確に示すこと。
4. 東京新幹線運輸区（仮称）発足における異動等に対する考えを示すこと。また、業務移管における指導教育体制および移行期間等についての進め方を明確に示すこと。
5. 建屋工事がすでに実施されていることからアスベスト対策を含めた進捗状況を明らかにするとともに具体的な職場レイアウトを示すこと。
6. 東京新幹線運輸区（仮称）発足に伴う丸の内車掌区の在来線部門の在り方についての考えを示すこと。
7. 新型コロナウイルス感染症のリスクをはじめ様々なリスクの発生に対し、全ての働く者と利用者の「安全」「いのち」「健康」を守り抜くための方策を具体的に示すこと。

以 上